

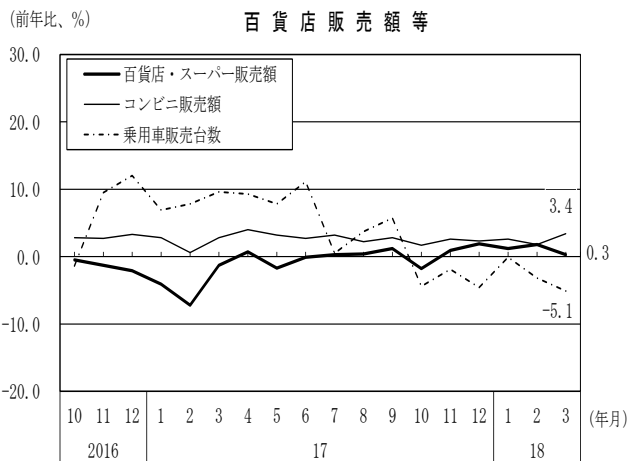
## ●最近の県内経済

**基調判断**  
(2018年3月を中心として)

**今月の概要**

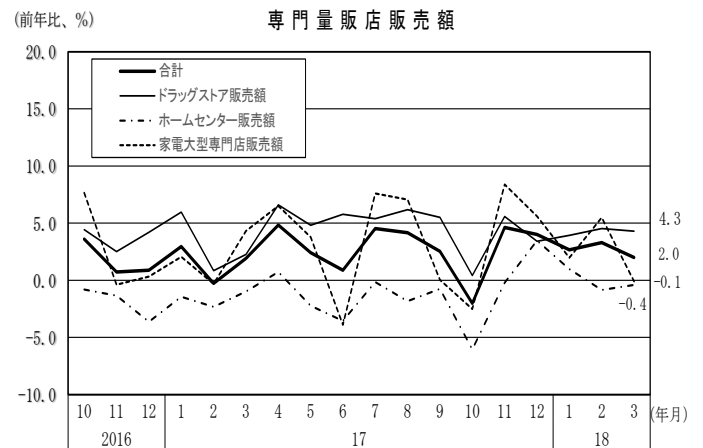
県内景気は緩やかに回復している。

### 1 個人消費 持ち直し



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

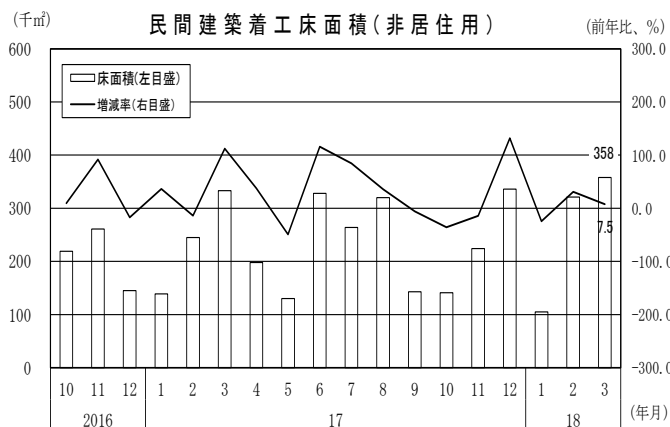
3月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、854億円で前年比0.3%増加した。百貨店は同3.4%減少したが、スーパーは同1.4%増と5か月連続で増加した。コンビニ販売は同3.4%増と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、同5.1%減少した。内訳をみると、軽乗用車が同2.1%、普通車が同0.3%増加したものの、小型車が同17.4%減と引き続き減少した。



(資料) 経済産業省

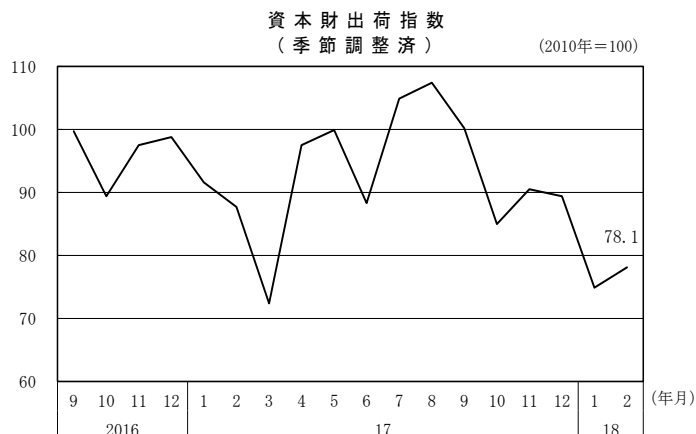
3月の専門量販店販売額は、642億円で前年比2.0%増と引き続き増加した。内訳をみると、ホームセンターが162億円で同0.4%減少し、家電大型専門店が160億円で同0.1%減少しているが、ドラッグストアは320億円で同4.3%増と好調に推移している。

## 2 設備投資 増加基調



(資料)国土交通省

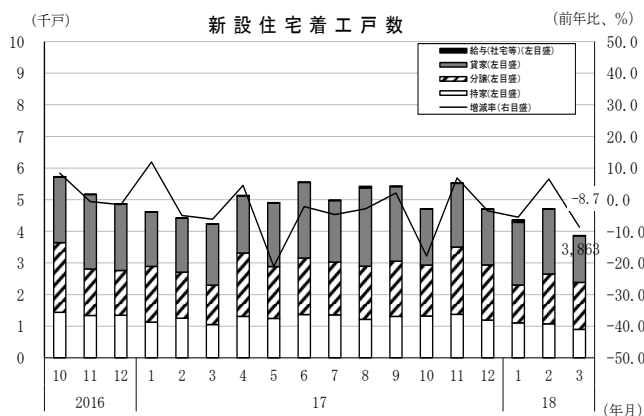
3月の民間建築着工床面積(非居住用)は、358千㎡で前年比7.5%増加した。用途別にみると、事務所、倉庫などが減少したものの、店舗、工場及び作業場、病院・診療所などが増加した。



(資料)埼玉県

2月の資本財出荷指数(季節調整済)は、78.1で前月比4.3%上昇した。

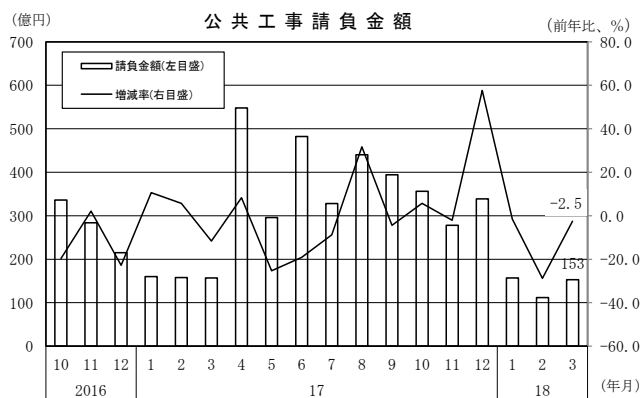
## 3 住宅建設 弱含み



(資料)国土交通省

3月の新設住宅着工戸数は、3,863戸で前年比8.7%減少した。利用関係別にみると、持家は896戸で同14.9%減、貸家は1,475戸で同23.6%減、戸建ては957戸で同10.7%減少した。

## 4 公共工事 横ばい

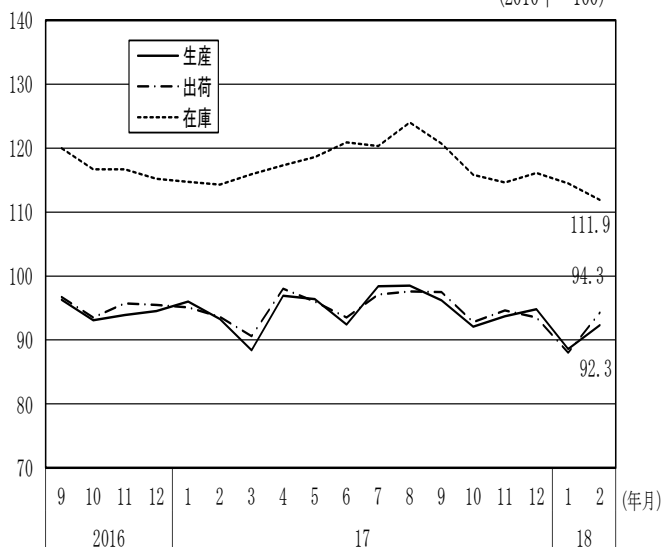


(資料)東日本建設業保証株式会社

3月の公共工事請負額は、153億円で前年比2.5%減少した。3月までの年度累計では前年同期比0.8%減とほぼ横ばいで推移している。3月単月を発注者別でみると、県などが増加したものの、国、独立行政法人等、市町村が減少した。

## 5 生産活動 一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) (2010年=100)



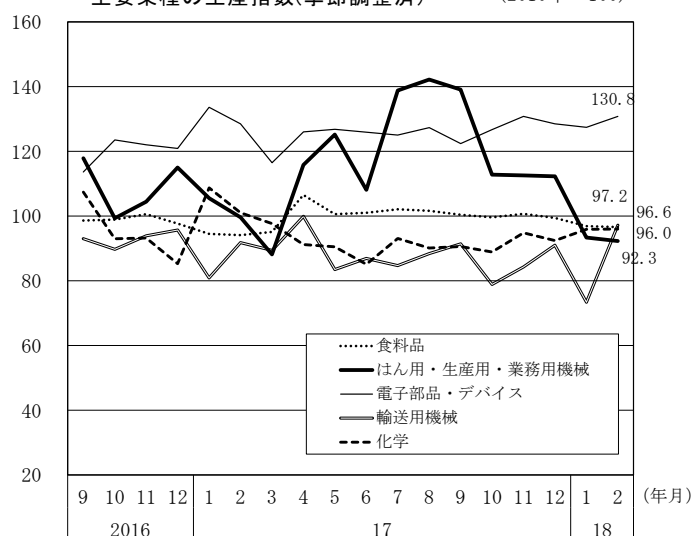
(資料)埼玉県

2月の生産指数(季節調整済)は、92.3で前月比4.2%上昇した。生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが低下したが、輸送用機械(乗用車、自動車エンジン)、はん用機械(空気圧機器)、情報通信機械(カーオーディオ、カーナビゲーション)などが上昇した。

出荷指数(同)は、94.3で前月比7.2%上昇した。情報通信機械(カーナビゲーション)が低下したが、輸送用機械(乗用車、自動車エンジン)、非鉄金属(伸銅製品)、はん用機械(空気圧機器)などが上昇した。

在庫指数(同)は、111.9で前月比2.3%低下した。金属製品(アルミエクステリア)などが上昇したが、はん用機械(はん用内燃機関)、輸送用機械(乗用車、けん引車)、プラスチック製品などが低下した。

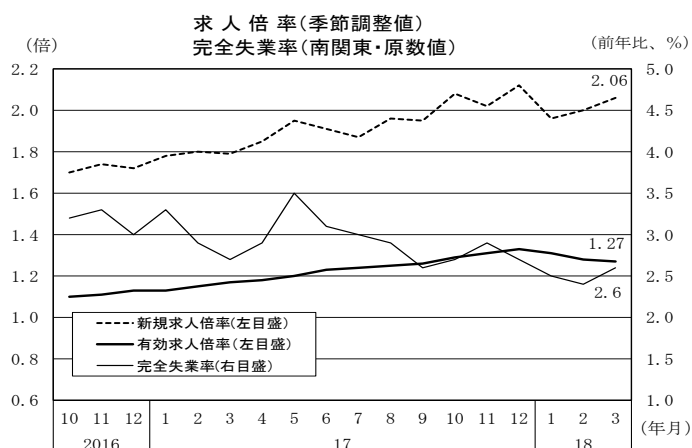
主要業種の生産指数(季節調整済) (2010年=100)



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、96.6で前月比0.3%低下し、3か月連続の低下となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は130.8で前月比2.7%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、92.3で前月比1.2%低下し、6か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送用機械(同)は、97.2で前月比32.4%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、96.0で前月比0.1%上昇し、2か月連続の上昇となった。

## 6 雇用情勢 着実に改善

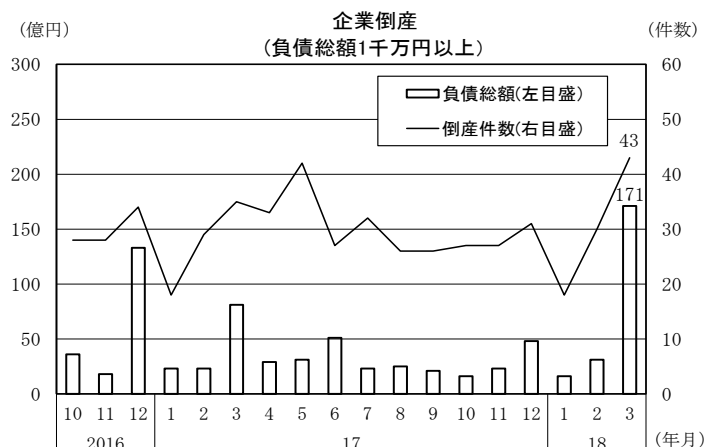


(資料)厚生労働省、総務省

3月の有効求人倍率(季節調整済)は1.27倍で前月比0.01ポイント低下したが、新規求人倍率(同)は2.06倍で同0.06ポイント上昇した。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%と同0.2ポイント悪化したが、低水準にある。

## 7 企業倒産 件数、金額とも増加



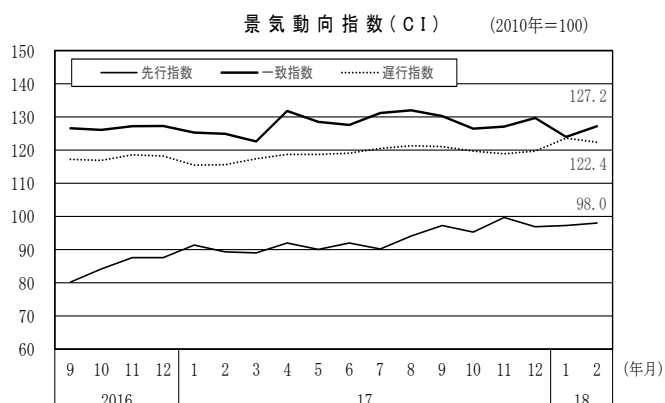
(資料)帝国データバンク

3月の企業倒産件数は、43件で前年比8件の増加、負債総額も171億円で同90億円の増加となった。

業種別にみると、サービス業が12件で最も多く、次いで建設業が11件、小売業が7件となっている。サービス業が2か月連続で最多となった。主因別では、販売不振が40件で最も多くなっている。

## 〈参考〉

### 景気動向指数 (CI) 一致指数は足踏みを示している



(資料)埼玉県

2月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、127.2で前月比3.2ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、98.0で前月比0.7ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、122.4で前月比1.2ポイント低下し、3か月ぶりの低下となった。